

第3回生物多様性部会 議事要旨

日 時：平成29年12月21日（木）18時～20時15分
場 所：大阪市環境局 第1会議室
議 題：「（仮称）大阪市生物多様性戦略〔部会案〕」について
出 席 者：（委員）花田部会長、上甫木委員、佐々木委員（専門委員）、平井委員（専門委員）、深町委員（専門委員）、宮川委員（専門委員）
（環境局）北辻環境局長、青野理事兼エネルギー政策室長、堀井環境施策部長、岡本環境施策課長 他

配付資料：次第

- 資料1 大阪市生物多様性地域戦略のあり方について（報告）
- 別添1 大阪市環境審議会 生物多様性部会 審議経過
- 別添2 （仮称）大阪市生物多様性戦略〔部会案〕概要版
- 別添3 （仮称）大阪市生物多様性戦略〔部会案〕
- 資料2 スケジュール
- 参考資料1 各委員の意見とその対応について（第2回生物多様性部会以降）
- 参考資料2 第2回生物多様性部会 議事要旨
- 参考資料3 第33回大阪市環境審議会 会議録

【事務局説明】

- ・資料1及び別添1により、環境審議会への部会報告内容について
- ・別添2及び別添3により、（仮称）大阪市生物多様性戦略〔部会案〕の内容について
- ・資料2により、今後のスケジュールについて

【別添2「（仮称）大阪市生物多様性戦略〔部会案〕概要版」に関する意見】

- (ア) 各項目に本体のページ番号を記載した点は良いと思う。第5章の全体は36ページから67ページとあるが、項目の詳細が36ページから37ページとの記載しかなく、わかりにくい。
- (イ) 第5章の取組みの背景のデザインは不要。
- (ウ) 改行する位置を単語の途中で切れないように工夫していただきたい。

【別添3「（仮称）大阪市生物多様性戦略〔部会案〕」に関する意見】

- 1. 表紙デザイン・サブタイトル・キャッチフレーズ
- (ア) 新たなキャッチフレーズ（地球上の生き物たちの豊かな「個性」と「つながり」が支える私たちの暮らし）より「生きもんええもんうまいもん賑やかなまち大阪」の方が小さく、目立たなくなっている。

表紙に掲載しているコサメビタキは渡り鳥であり、大阪市内で繁殖していないため、コチドリの方が良いのではないか。

- (イ) 大阪市の木、花、鳥などにするのはいかがか。
- (ウ) 写真はナニワトンボやオオサカサナエ等、大阪の名前がついている生き物が良い。表紙全体としては、昆虫、脊椎動物、植物とバランスが良いので、崩さずに写真を変えていただきたい。
- (エ) イラストの蝶と鳥の種類は何か。
- (オ) おそらくアゲハ蝶とコマドリではないか。表紙として取り上げても大丈夫だと思う。
- (カ) 新たなキャッチフレーズの「地球上の」という単語はグローバルな視点でいいと思うが、他人事のように感じられるのではないか。生物多様性を身近に感じてもらうために、あえて書く必要はないのではないか。
また、表紙のフォントが異なっているので見づらい。
- (キ) フォントを使いすぎているので統一感がない。

2. 「第1章 大阪市生物多様性戦略の策定にあたって」

- (ア) 「4. 大阪市生物多様性戦略の目標」で唐突に目標に関する記載があるが、この3つの目標に至った経緯が書かれていない。
- (イ) 3つの目標に至った経緯は非常に重要である。大阪市の強みである経営資源や潜在能力を入れるとわかりやすい。大阪市が生物多様性についてどのような経営資源、すなわち強みを持っているかが書かれていない。その強みは、第6章にあるとおり、市民やNGO/NPO、民間事業者等のつながりがあることである。
目標とそれにつながる資源を書くことで大阪市の強みを表現することができ、万博の誘致などにも好影響があるのではないか。
- (ウ) 大阪市では、縄文時代には海であったところに埋め立てなどによって都市が形成されてきた歴史的背景がある。そうした歴史的背景を押さえることが必要である。
第5章の初めに、目標の背景や意義、大阪市の特徴について半ページから1ページ程度で記載すると良い。
- (エ) 数値目標である、言葉の意味を知っている市民の割合50%以上は低い。

3. 「第2章 生物多様性とは」

- (ア) 第1章があっさり書かれているのに対し、第2章で地球環境という大規模な話になり、市民に身近に感じてもらえない。8ページのたこ焼きのコラムが浮いている。第2章が前後の章につながっていくように、つなぎ方を工夫すれば良い。
- (イ) 13ページの第2の危機の内容について、シカやイノシシの生息場所となることがどうい問題につながっているのか、すなわちシカやイノシシが増えることでどのような影響があるのかを追記する必要がある。

- (ウ) シカやイノシシによる被害を受けていることがわかる写真があれば良いのではないか。
- (エ) 7 ページの供給サービスにある難波葱の写真について、38 ページのコラム 13 にあるように、ヤマトシジミやエビ、カニ、ウナギ、ボラ等のほうが供給サービスとして思い浮かべると思う。
- (オ) 朝、電車で淀川を渡るとき、シジミを採る籠を持って川に入っている人を見かけることがある。毎日食べるほどのものではないかもしれないが、シジミであれば良いのではないか。

4. 「第3章 大阪市の生物多様性の状況」

- (ア) 19 ページに土地利用の変遷があるが、大阪市では、農地の減少が深刻な問題である。農地のような守るべき場所は、法律や社会の枠組みで守ることが大事である。
- (イ) 農地については、49 ページの具体的施策 No.21 に生産緑地に関する記載があるだけであり、不十分である。
- (ウ) 農地を直接規制することは、政策上難しい点がある。
- (エ) 都市における生産緑地は防災面で重要である。生産緑地法では、公的な位置付けで残していくことが大事だとなっている。
- (オ) 農地やため池は生態系において重要。
- (カ) 農地の重要性について記載していただきたい。
- (キ) ホットスポットの説明が簡潔すぎる。第5章の具体的施策 No.15 にホットスポットを保全しようとするが、詳しい説明がないので意味が伝わらない。

5. 「第4章 私たちの暮らしと生物多様性の関わり」

- (ア) 27 ページの昔の大阪市の地図にクレジットが必要ではないか。
- (イ) 32 ページの NEXT21 については、民間事業者が日本野鳥の会とモニタリングしてきたことが重要である。可能であれば追記していただきたい。
- (ウ) NEXT21 は省エネをメインとした施設であり、閉鎖的である。掲載する施設は、誰でも訪れることが可能なところが良い。例えば、あべのハルカスや大阪ステーションシティ等、緑化に関する賞を受賞していたり、都市のオアシスに認定されている施設が良いと思う。

6. 「第5章 目標達成に向けた取組み」

(1) 「1. 課題」

(ア) 36 ページの「人工的な緑の増加」について、緑の量が増加したことしか記載がないので、末尾に「さらに質の充実が重要である。」と追記する必要がある。

(2) 「2. 具体的施策」

(ア) タイトルを「基本戦略と方針」とし、追加で「3. 具体的施策」とすべきである。

(イ) 基本戦略 B 方針Ⅱの前文について、1行目の家庭という表現は、住宅に変更してはどうか。

(ウ) No.25 について、咲洲・舞洲についてももう少し記載して良いのではないか。水際を大事にしている取組みの話を記載したらどうか。

(エ) 水際の取組みについては、緩斜面にすると藻場が形成されることなどが良いのではないか。

(オ) No.25 について、環境 NGO/NPO が精力的に取り組んでいるので関係先に入れていただきたい。

(カ) No.39 の水質改善について、改善されすぎると魚に対して良くないとの意見もある。水質改善と漁業との関連についても記載してはどうか。

7. 「第6章 大阪市生物多様性戦略の推進に向けて」

(ア) 環境審議会で見直しがあつたことにより、「見直しを行う」という文言を削除されているが、進化させることを常に考えているということが大事である。言い方を変えて「実現と進化」のような文言を入れてはどうか。

(イ) 平成 23 年度答申時に生物多様性関連施設として重要な位置付けにあつた生き生き地球館や水道記念館は閉鎖され、残念である。なにわ ECO スクエアは生物多様性の拠点施設として大丈夫なのかと思う。

(ウ) 68 ページの余白になにわ ECO スクエアをイメージできる写真を入れてはどうか。

(エ) なにわ ECO スクエアの紹介と、活性化に向けた大阪市の思いについて記載していただきたい。

(オ) 水道記念館のバックヤードでは希少種が飼われているが、このまま自然消滅する状態だと聞いている。水道の元は淀川であり、それを学ぶために水道記念館は良い施設だったと思う。

平成 23 年度答申時には重要だと言っていた施設の現在の使い方が非常にもったいない。

8. 資料編

(1) 「3. 各種イベントへの出展状況」

(ア) タイトルを出展状況としているが、目的は情報発信なので、タイトルや説明文もそのように改めていただきたい。

(2) 「4. 大阪市内の生物相」

(ア) リストについて、選定基準等の説明が不十分である。

(イ) リストの内容が戦略本体に反映されていない。また、リストの内容にミスが多い。

(ウ) リストは研究者には重要な内容だと思うが、市民にとって重要と言えるのか。戦略全体の量が非常に多くなるため、インターネット上のみの掲載は考えられないか。

(エ) リストは戦略を策定する上で必要なものであり、欠かせない。

(オ) 44 ページの具体的施策 No.15 にホットスポットの記載があるが、ホットスポットや代表的な都市公園、社寺林にどんな生き物がいるのかわからないので、貴重な自然環境と守るべき生き物がつながっていない。守るべき生き物がどこに生息しているのかわかるように、リストに追記してはどうか。

(3) 「6. 用語集」

(ア) 特定外来生物を用語集に掲載していただきたい。

9. 全体を通して

(ア) 本文や表中の文章の改行位置について、読みやすいように工夫していただきたい。

(イ) 漢字の表記は統一していただきたい。

(ウ) 修正を反映した資料の確認については、表紙については全委員において確認し、それ以外については部会長の一任とする。また、年内は事務局で意見を受け付けてもらうので、言い足りないところがあれば、事務局まで伝えていただきたい。